

チャレンジ通信

埼玉県議会自由民主党議員団 幹事長

なかやしき慎一



卯月に思う

暖冬の影響で、桜の開花がすこぶる早いと言われていた今年ですが、3月後半の寒の戻りで、予想よりだいぶ遅れて桜の季節が訪れ、新年度を桜と共に迎えられました。その美しさと儚さ故に日本人の心を魅了する桜花、今年も素晴らしかったですね。

私は改選後の令和5年度、自由民主党議員団の「幹事長」の任を努めさせて頂きました。令和4年度拜命していた「議長職」とは全く違った忙しさの中で議員生活17年目を過ごさせて頂いたいただき、改めて、物事への探求心を高く持つことや課題に実直に取り組むこと、嘘偽りを言わず、信頼を築き上げていくことの大切さを痛感しました。令和6年度は議員団に集いし57名がそうしたことを基軸として、今まで以上に政策立案に力を注げるよう、2年目を務めさせて頂いたたく幹事長として、県議団の運営に努めて参ります。

2月定例会報告

課題に真摯に挑戦する 未来を切り拓く 施策として

令和6年度 一般会計予算

約2兆1,197億

4千万円

の計上を議決

県議会2月定例会(2月20日3月27日)は、令和6年度一般会計当初予算2兆1,197億4,400万円等を議決しました。

埼玉県は今、人口減少・超少子高齢社会の到来、そして激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応という2つの大きな課題に直面しています。また、社会の在り方が変化し、多種多様な価値観が広がっている中、県民全ての人が活躍でき、安心して暮らせる社会の実現が、一層強く求められています。



最新情報ははこちらから!

2月補正予算【第6号】

2月定例会では令和6年度当初予算に加えて、令和5年度2月補正予算【第6号】(第7号)を議決しました。

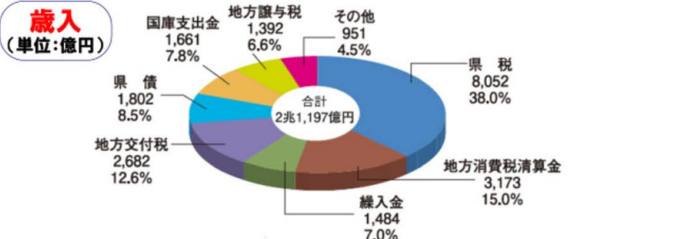
この補正予算は、国の「デフレ完全脱却のための総合経済政策」に基づく補正予算に対応したもので、補正予算【第6号】(予算額319億5,822万円)

は、防災・減災、国土強靱化のための公共事業の追加や、経営発展を目指す農業者への支援などが盛り込まれています。

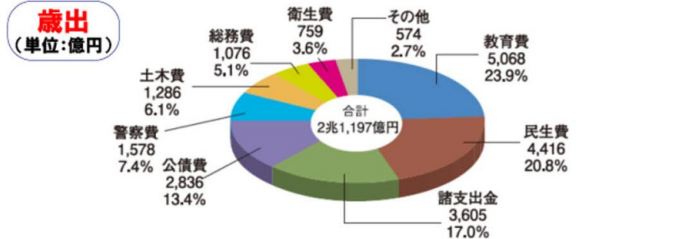
補正予算【第7号】(予算額△632億862万4千円)は、県税や地方交付税などの歳入について、既定予算額と収入見込額との調整を行うとともに、給与費や公債費などの執行見込額を踏まえた精査など必要な措置を行うため編成されたものです。

令和5年度 一般会計累計額 2兆2,281億 4,449万1千円

令和6年度一般会計当初予算 主な施策について《抜粋》



- 県税収入は、個人県民税や法人二税など8,052億円を計上
- 県債は、臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債など1,802億円を計上
- 国庫支出金は、義務教育費負担金や社会資本整備総合交付金など1,661億円を計上



- 教育費は、教職員給与費や県立学校大規模改修費など5,068億円を計上
- 民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金、新たな児童相談所の整備など4,416億円を計上
- 諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金など3,605億円を計上

歴史的課題への挑戦(人口減少・超少子高齢社会への対応)《抜粋》

持続可能なまちづくりと経済成長の実現①

一部新規 拡充 **埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進** 12億 185万9千円

プロジェクトに取り組む 市町村数 合計 46 団体

- 大野知事が「日本一暮らしやすい埼玉県」を目指し進める5大プロジェクトの一つ
- 鴻巣市においては、令和5年度にエントリー。市全域では、コンパクトで魅力ある市街地の形成。再生可能エネルギーを活用した発電・蓄電
- 産業振興、賑わい創出の拠点施設(仮称)道の駅こうのすの整備
- 鴻巣駅周辺を「花」で彩られたウォークアブルなまちへ など検討中

持続可能なまちづくりと経済成長の実現②

一部新規 **サーキュラーエコノミーの推進** 4億1,011万4千円

◆リーディングモデルの構築

- リーディングモデルの構築に向けた**補助金の新設**
 - > サークュラーデザイン(循環配慮設計)に基づく製品等の試作開発 (補助率)2/3 (補助上限)2,000万円
 - > 「食のサーキュラーエコノミー」に資する設備やシステムの導入等 (補助率)2/3等 (補助上限)2,000万円
 - > 廃棄物処理業者による高度な再資源化設備の導入 (補助率)2/3等 (補助上限)2,000万円
- サークュラーエコノミーに特化したスタートアップ企業ビジネスプランコンテストの開催
- 「サーキュラーエコノミー推進センター埼玉」における支援の強化
- 埼玉県SDGs官民連携プラットフォームを活用した企業等の交流や事業連携等の推進

歴史的課題への挑戦(人口減少・超少子高齢社会への対応)《抜粋》

新規 **あんしんしあわせのしいこども支援の充実**
「こどもまんなか社会」実現への取組 1,352万7千円
 ・子供等から県の子供施策に対する意見を聴取する仕組みを構築
 > こども県政サポーター(仮称)
 制度を創設
 > 意見聴取のシステムを構築

拡充 **子育て家庭への経済的支援** 37億6,910万4千円
こども医療費助成制度の拡充
 ・補助対象年齢の拡大、所得制限の撤廃
 > 県の補助対象拡大により、各市町村の様々な子育て支援を後押し

区分	(現在)	(拡充後)
通院・入院	就学前	小・中・高まで
所得制限	あり	なし

一部新規拡充 **保育人材の確保**.....1億 903万4千円
潜在保育士の就職支援
 ・潜在保育士に向けたデジタル広告や一斉通知の実施
 ・ワンストップで情報収集可能なポータルサイトの構築
 ・段階的に復職するための雇上げに係る経費の補助

新規 **こどもの居場所の確保・充実**.....6,853万8千円
バーチャルユースセンター(仮称)の設置
 ・メタバース空間にこども・若者の居場所を設置
 > 交流・体験、相談の場として構築・活用
 > リアルの交流・体験、専門支援との連携

新規 **児童虐待防止・社会的養育の充実**.....2億9,013万2千円
 ~虐待に対する切れ目のない支援~

発生予防	早期発見・対応	児童・家庭支援	里親等・施設入所	施設退所・自立
普及啓発活動 妊産婦等支援	窓口整備・普及 児相体制強化 関係機関連携	児童の心のケア 家族再統合支援 児童の意見表明等支援	里親等支援 施設運営体制強化	住宅・就労支援 資金貸付 アフターケア

拡充 **児童虐待の未然防止**
 ・課題を抱える子供や家庭への包括的支援を行う市町村への補助
一時保護所の環境整備
 ・中央児童相談所一時保護所の建替えに向けた設計等を実施
 > 令和9年度開所予定
 ・保護児童の意見の表明等を支援

更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上
一部新規拡充 **DXによる県民サービスの向上** 2億6,360万8千円
《抜粋》
◆ 公金収納の更なるキャッシュレス化の推進
 ・窓口キャッシュレス決済が未導入の県直営施設や保健所等に、新たにキャッシュレス環境を整備
◆ 電子出願システムの本格導入
 ・県立中学校及び県立高校の出願手続のオンライン化、入学選考手数料のキャッシュレス化
 R5モデル12校 ▶ **入学者選抜を実施する全校**

一部新規拡充 **タスク・トランスフォーメーション(TX)による行政の生産性向上**.....1億4,082万9千円
◆ TXの推進
 ・デジタルで効率化するタスクと人が担う業務を仕分け、県民サービスと生産性の向上を実現するタスク・トランスフォーメーションを推進
◆ 生成AI、ノーコードツールの活用拡大
 ・TXで重要なツールである生成AI、ノーコードツールを全ての職員が活用し、様々な業務の効率化を実現

歴史的課題への挑戦《抜粋》
激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え
一部新規拡充 **自然災害への備え**.....123億9,598万7千円
◆ 埼玉版流域治水対策の推進
 ・中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト
 > 中川・綾瀬川流域を「**特定都市河川**」に指定し、法的枠組みを活用して流域治水をより強力に推進

新規 **新たな感染症への備え**.....7億5,972万3千円
 ・新たな感染症の発生・まん延時に備え、協定締結医療機関が行う施設・設備整備への補助など感染症対応力の向上を支援
 ・検査能力向上など県衛生研究所の機能を増強
 ・新たな感染症を想定した訓練を実施し、地域の連携体制を構築

新たな感染症への対応力を強化
 新たな感染症を想定した訓練の様子

「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化《抜粋》

一部新規拡充 **県民の暮らしの安心確保/介護・医療体制の充実**
人材の確保・定着対策の推進 8億3,121万5千円
《抜粋》
◆ 医学生への奨学金賞与枠の拡充
 ・県内の医師不足地域等に勤務することを条件とする奨学金の新規貸与枠(地域枠)を拡大 7大学 45名 ▶ **8大学 47名**

一部新規拡充 **地域医療体制の充実**.....3億3,123万3千円
《抜粋》
◆ がん患者のQOL向上
 ・ウィッグ等のヘアケア用品
 購入費用を助成する市町村を支援
 ・AYA世代終末期患者の在宅療養費用を助成する市町村を支援

一部新規拡充 **豊かな自然と共生する社会の実現**
カーボンニュートラルの推進.....7億7,142万2千円
◆ CO2削減に取り組む中小企業等への支援
 ・中小企業等のスマートなエネルギー利用を促す補助
 〈補助対象〉
 ① 高効率設備への更新、再エネ・蓄電池の導入
 ② ①と**エネルギー管理システム(EMS)の同時導入**
 〈補助率〉 ①1/3 ②1/2
 〈補助上限〉 ①500万円 ②1,000万円
 ・埼玉県SDGs官民連携プラットフォームを活用した企業等の交流や連携等の推進

一部新規拡充 **電動車(EV/PHV)の導入支援**
 ・県民及び事業者のEV/PHV等の導入に対する補助
 〈補助対象〉 ① EV、② 軽EV/PHV、③ V2H、④ 外部給電器
 〈補助上限〉
 ① 40万円*1又は25万円、② 27.5万円*1又は15万円
 ③ 15万円*2、④ 25万円
 *1 太陽光発電設備及びV2Hを導入又は保有の場合
 *2 EV/PHV及び太陽光発電設備を導入又は保有の場合
 ・公用車へのEV/PHV導入環境整備

未来を創る子供たちの育成/人生100年を見据えたシニア活躍の推進
新規 **多様なニーズに対応した教育の推進** 2,465万9千円
《抜粋》
◆ ICTを活用した遠隔教育の展開に向けた実証
 ・教員確保が困難な教科等の遠隔授業の実証
 ・大学による高校生向け遠隔授業の実証

新規 **シニアの活躍支援**.....4,586万5千円
◆ 岩槻高齢者講習センターにおけるシニアを対象とした総合支援
 ・運動機能の測定や講座放映等の社会参加・健康づくり事業の実施
 ・体験型機器を活用した交通安全教育の実施
 ・口腔機能ケアの重要性について普及啓発

儲かる農林業の推進
新規 **アグリテックによる栽培・生産技術の向上**.....9,276万円
《抜粋》
◆ 県産いちごの生産体制の強化
 ・新技術を活用したセル苗の実証
 ・実とり苗の生産に必要な施設整備支援
 ・高温対策のための遮光資材整備支援

一部新規 **農業の担い手育成**.....1億4,601万円
◆ 新規就農の促進
 ・明日の農業担い手育成の運営拡大
 > 農業法人研修コースを創設(主穀・施設園芸・果樹) 農業法人の技術指導を受けながら、研修農場(遊休施設等)を使用し、独立就農に向け研修
 ・農業法人等による就農支援の環境整備
 > 研修用農場の環境整備支援(機械導入・施設改修)
 > 第三者経営継承の支援(お試し研修などマッチング・継承計画作成等)
 > 女性が働きやすい環境整備の支援(トイレ、更衣室、機械等)